

千里の道も一歩から2

令和5年度
東能勢小中学校
進路通信 No.4
5月12日
発行者:松岡



「サトシの一票」を通じて

「サトシの一票」という教材で道徳の授業を行いました。教材の内容は、「選挙に無関心だったサトシは、家族全員が街の未来にしっかりと向き合っていることを知り、自分の『将来の一票』について考え始める。」でした。その授業では、18歳になったら成人となり、選挙の投票や様々な契約を結ぶなど、できることが増える反面、自分の行動に責任を取らなければならないことを学習しました。そして、成人の先につながる将来についてもしっかりと考えることの大切さを伝えました。

自分の進路、未来を考えることは難しいかもしれませんが、せめて3年後、成人した自分を想像して、進路を考えてください。

下には、4名の授業ふりかえりを載せています。ぜひ読んでください。



- 自分の将来と言われても、漠然としていて、今自分は何ができるのか、わからないけど、自分の将来が良いもの、納得できるものにするために、どんな道があるのか、いろいろ知っていきたく思った。18才といったらもう大人で、自分で考えて自分で決めることが多くなるから、一つひとつに対して真剣に考えて決めたい。
- 将来の自分の夢や目標を考えないといけないと思った。(中略) 高校を決めるとき、仕事を決めるときに将来のことを考えてないと失敗したり、後悔したりすることが分かった。後悔することがないように、今から勉強を頑張って入学できる高校の数を増やし、高校の3年間を大切にしようと思った。
- 成人になるといろいろな権利がもらえたり、できることも増えるけど、その分責任も増えるから、怖い部分もある。でも、車の免許などの楽しみな部分もあるから、まずはちゃんと成人できるようにしっかりと自分の進路を決めることが大切だと思った。
- 私には、うっすらとですが夢があります。デザイン関係の仕事をしたいと今は思っています。中学1年になってから意識するようになって、たくさんの情報を探しました。高校のデザイン科、大学のデザイン科、どんな仕事があるか、調べるためだけなら楽しいけど、いざ自分が今できることはあると言われてもはっきりとは答えられません。

もしかしたら途中で夢が変わったり、自分にはできないんじゃないかと思ったらとても不安になります。そのことを親に相談したら一緒に悩んでくれました。「できることがあったら手伝うで」と言ってくれて少しだけ安心できました。とても心強いです。不安なことがあったら、親でも友達にでもいいから相談しようと思います。



奨学金の案内

川口交通遺児育英会は大阪府在住者、大阪府出身者または大阪府下の学校在籍者のなかで、保護者が交通事故に遭遇し、経済的に就学が困難となった者に対して、育英奨学資金の貸与・給付、高等学校・高等専門学校への入学資金の給付、その他就学上必要な事業を行なっています。そのほか、あしなが育英会もありますが、案内は2学期になりますので、届き次第、お知らせします。

奨学金制度とは、高校や大学などで勉強するために、日本学生支援機構・大阪府育英会・市町村奨学金などが、お金を貸してくれる制度です。たとえ授業料が無償化になっても、高校は多くの学費が必要です。そのため安心して高校生活を送れるような様々な援助制度があります。

奨学金制度については、随時お知らせします。詳しくは担当の〇〇または進路担当にお問い合わせください。

【2024年入試 大阪私立学校展 開催のお知らせ】

日程：2023年8月12日(土)・13日(日)

会場：天満橋 OMM ビル 2階

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31

詳細が決定次第、大阪私立学校展のHPで

(<https://osaka-shigaku.gr.jp/shigakuten/>)

案内されます。こまめに見ておきましょう。

また、大阪の私立高校を紹介している冊子も後日(7月頃)配布します。

昨年度の冊子は、教室の後ろにも置いてありますし、大阪私立学校展のHPにもデジタルブックとして見るができます。

一度見てみてください。

